

## 八戸警察署の重点路線・重点地区（令和6年7月～12月）

重点路線(地区)	指 定 理 由
1 国道45号	過去3年上半期の人身事故発生件数が132件で、管内の路線別で最も多い。 重傷事故の発生件数が8件で、管内の路線別で最も多い。
2 中央地区	過去3年における人身事故発生件数が94件で、管内の交番別で4番目に多い。 横断歩行者等妨害等に起因する人身事故の発生件数が14件で、管内の交番別で2番目に多い。 重傷以上の事故の件数が多く、危険認知速度が高めである。
3 みなと白銀地区	過去3年上半期の人身事故発生件数が137件で、管内の交番別で最も多い。 横断歩行者等妨害等に起因する人身事故の発生が20件で交番別で最も多い。 重傷以上の事故の件数多く、危険認知速度が高めである。
4 類家地区	過去3年上半期の人身事故発生件数が109件で、管内の交番別で3番目に多い。 信号無視違反に起因する人身事故の発生件数が13件で、管内の交番別で最も多く、危険認知速度が高めである。
5 駅前地区	過去3年間における人身事故発生件数が69件で、管内の交番別で6番目に多い。 交差点関連違反や横断歩行者妨害違反に起因する事故が多い。
6 下長地区	過去3年間における人身事故発生件数が124件で、管内の交番別で2番目に多い。 交差点関連違反や横断歩行者妨害違反に起因する事故が多い。危険認知速度が高めである。
7 売市地区	過去3年間における人身事故発生件数が90件で、管内の交番別で5番目に多い。 交差点関連違反や横断歩行者等妨害等に起因する事故が多い。

※ 重点路線・重点地区以外の場所であっても、取締りを実施することがあります。

## 八戸警察署の交通指導取締り方針（令和6年7月～12月）

重点路線(地区)	重点的に取締りを実施する違反種別							
	速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	携帯電話・シートベルト	自転車	駐車禁止
1 国道45号	○	○				○		
2 中央地区		○	○	○	○	○		○
3 みなと白銀地区	○	○	○	○		○	○	
4 類家地区	○	○	○	○		○		
5 駅前地区	○			○	○	○		
6 下長地区	○	○	○	○		○		
7 売市地区			○	○		○		

※ 重点指定されていない違反種別についても、取締りを実施することがあります。